

新興国レポート

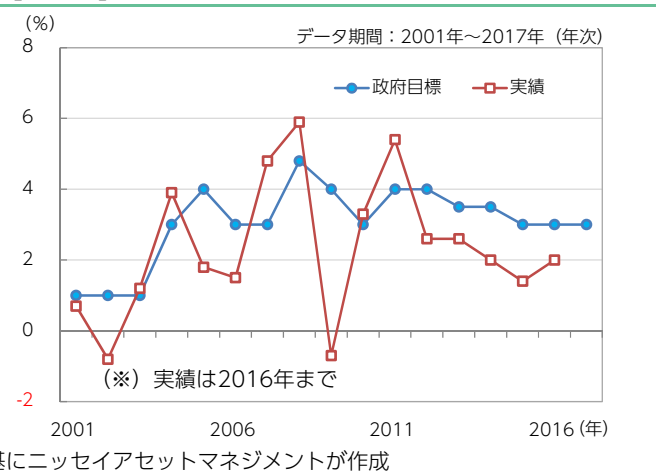
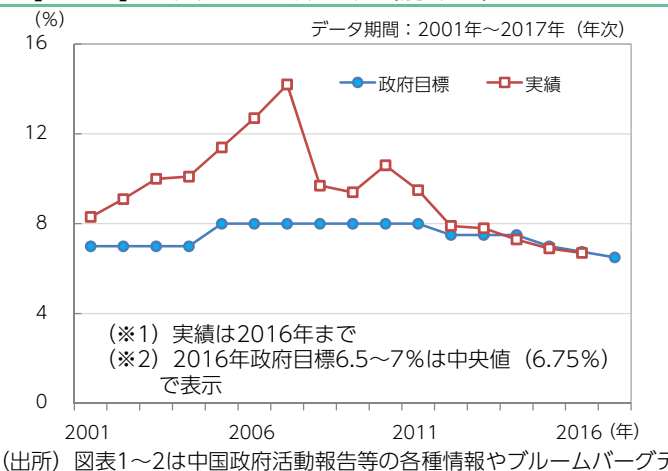
中国：2017年経済成長率目標を6.5%前後に設定

安定成長下での構造改革の推進を重視

- ▶ 中国は2017年の経済成長率目標を「6.5%前後、可能であればそれ以上」に設定。5年に一度の共産党大会を控え、リスク抑制と安定確保に焦点を移した。
- ▶ 慎重かつ中立的な金融政策の実行を強調。また、不良債権や債券の債務不履行等のリスクに高度に注意を払うと指摘。
- ▶ 中国国務院の李克強首相は3月5日開幕した第12回全国人民代表大会（全人代、日本の国会に相当）第5回会議で政府活動報告を行い、これまでの取り組みの成果や2017年の経済成長率目標等を発表しました。
- ▶ 2017年目標の主な内容は次の通りです。経済成長率目標を昨年より引き下げると共に、金融システムが抱えるリスクに大きく注意を払う等、経済や社会のリスク軽減と安定成長の確保に重点を移した内容となっています。
 - ① 2017年の経済（実質GDP（国内総生産））成長率目標を昨年の6.5%～7%から6.5%前後に引き下げ。3年連続の引き下げ。
 - ② C P I（消費者物価）上昇率の目標は3%前後と3年連続据え置き。
 - ③ 現預金総額（M2：広義のマネーサプライ）と融資規模の目標を何れも12%とし、昨年の13%から引き下げ。企業の借金依存の体質改善を図る。
 - ④ 通年で企業の税負担を3,500億元前後削減（昨年の5,700億元の減税規模に更に3,500億元追加）。
 - ⑤ 人民元レートの変更に自由を進め、世界の通貨システムにおける安定した地位を維持する。
 - ⑥ 対外開放を進める。「一帯一路」（the belt and road）の建設を着実に推進する。
- ▶ 2020年までに2010年比でGDPと所得水準を倍増させ、小康社会（適度にゆとりある社会）を実現するとの共産党公約を実現するには最低6.5%前後の経済成長が必要との見方もあります。中国政府は、その目標達成が危ぶまれるケースでは金融緩和策等可能な手段を総動員して対応にあたるものと思われます。尚、トランプ大統領の対中国政策が経済や金融市場等の波乱要因として認識される局面も想定されます。

【図表1】 実質GDP成長率（前年比）

【図表2】 C P I 上昇率（前年比）



(出所) 図表1～2は中国政府活動報告等の各種情報やブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成